

平成24年度 佐賀県民災害ボランティアセンター事業報告書

1. 会員の加入

平成24年度 個人会員 700名 (717口) 賛助会員 32団体 (40口)
※会費/個人会費1口:1,000円 賛助会費1口:10,000円

2. 災害ボランティア被災地活動

北部九州豪雨災害被災地における災害ボランティア活動や被災地の社協活動を支援するため、九州各県のネットワーク支援体制のもとスタッフを派遣し、大分県竹田市社協の支援を行った。

派遣期間 第1班 平成24年7月20日～22日 派遣人数2名
第2班 平成24年7月26日～28日 派遣人数3名
活動内容 現地職員と協力したボランティアセンターの運営及び
ボランティアのコーディネート業務



3. 県内市町社会福祉協議会及び各種団体等への支援

(1) 市町社会福祉協議会の災害ボランティアセンター活動支援費助成

助成先：唐津市、多久市、武雄市、基山町、有田町の各社会福祉協議会（5市町社協）

(2) 団体活動支援費助成

助成先：佐賀県民生委員児童委員協議会、佐賀県ボランティア連絡協議会、佐賀県老人福祉施設協議会、佐賀県柔道整復師会、佐賀県身体障害児者施設協議会、佐賀県精神障害者家族連合会、佐賀県社会福祉協議会（7団体）

(3) 講師等派遣

●各団体に取り組む災害ボランティアの研修会等への講師、指導者の派遣

期日	団体名	研修名・内容	参加対象・人数
5月21日	武雄市社協 朝日地区協議会	大震災の現場から見てきた今後の地域福祉のあり方について	地区社協役員 10名
6月16日	鳥栖市社会福祉協議会	ボランティア活動と心構えについて	一般 20名
6月24日	多久市ボランティア連絡協議会	災害ボランティアセンターについて	一般・高校生 70名
8月24日 25日	鳥栖市社会福祉協議会	東日本大震災被災地支援について	中学生 54名
9月15日	鳥栖市社会福祉協議会	東日本大震災から学ぶ災害ボランティアについて	一般 20名
3月11日	有田町社会福祉協議会	大規模災害発生時の災害ボランティアセンターの対応について	有田町民災害ボランティアセンター役員 15名

4. 訓練

(1) 平成24年度佐賀県総合防災訓練（災害ボランティア現地救援本部運営訓練）参加

と き：平成24年5月27日（日）

場 所：訓練会場 芦刈文化体育館（小城市芦刈町）

訓練内容：現地災害ボランティアセンター設置運営訓練、情報発信・伝達訓練、ボランティア活動（ニーズ調査）訓練

5. 広報啓発・情報提供

(1) 関係機関等へ会員募集チラシの作成配布 8,000枚

(2) 広報・啓発

○会員募集案内を佐賀新聞の「福祉のまちだより」で掲載

○災害ボランティアセンターホームページの運営

○全国災害情報（全社協「福祉救援・災害ボランティア情報」）を各種関係団体等へメールにて情報を提供するとともに、ホームページにも掲載し情報提供を図った

○会員向け情報誌「災害ボラ通信」の発行（2回）

6. 会議等の開催

(1) 監事監査

と き：平成 24 年 6 月 13 日（水）

内 容：平成 23 年度事業報告、収支決算に係る監査

(2) 運営委員会

と き：平成 24 年 7 月 6 日（金）

場 所：佐賀県社会福社会館

協議事項：・会長、副会長、監事の選任について

・平成 23 年度事業報告及び収支決算（案）について

・平成 24 年度事業計画及び収支予算（案）について

(3) 大規模災害時の支援体制構築に向けた検討会議の開催

東日本大震災や、九州北部豪雨災害での災害ボランティアの支援活動やこれらを支援するための社協職員の派遣・ボランティアバスによる支援活動などの様々な実践活動で得た貴重な経験と課題を検証し、今後の大規模災害時における社会福祉協議会の運営に繋げていくための検討会議を開催した。

と き：平成 25 年 1 月 31 日（木）

場 所：佐賀県社会福社会館

参加者：東日本大震災及び九州北部豪雨災害において現地支援地で支援活動に従事した市町社会福祉協議会職員 10 名

内 容 ・課題の洗い出し

・問題点に関する原因分析

・課題解決のための対応策